

# 総務常任委員会記録

令和2年6月26日(金)午後1時30分～午後2時12分(9階908会議室)

## ○出席委員(9名)

委員長	白川 敏明	副委員長	鈴木 正実
委員	羽田 房男	委員	後藤 善次
委員	高木 克尚	委員	大平 洋人
委員	尾形 武	委員	村山 国子
委員	宍戸 一照		

## ○欠席委員(なし)

## ○議題

所管事務調査「人口減少等の社会変化を見据えた持続可能な行政の在り方に関する調査」

1. 今後の調査について
2. その他

---

午後1時30分 開 議

(白川敏明委員長) ただいまから総務常任委員会を開会いたします。

今後の調査についてを議題といたします。

今回の所管事務調査については、3月までに当局説明、行政視察を実施し、協議を進めてまいりました。その後、再度の当局説明を行い、令和2年度のICT関連事業や推進体制について聴取し、委員長報告のまとめを行う予定でありましたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、調査を休止していたところであります。再度の当局説明は実施できませんでしたが、正副委員長といたしましては、機を逸することなく調査内容をまとめて委員長報告を行うため、これまでの調査内容を基に委員長報告のまとめを行い、9月定例会議での報告を目指したいと考えます。そのような考えの下、今後の調査スケジュール案を作成いたしました。お配りしてもよろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(白川敏明委員長) それでは、調査スケジュール案をお配りいたします。

【資料配付】

(白川敏明委員長) このようなスケジュールで今後の調査を進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(白川敏明委員長) それでは、そのように進めさせていただきます。

次に、委員長報告の方向性についてを議題といたします。

まず、これまでの調査を基に委員長報告での提言となりそうなポイントを正副委員長手元で整理いたしましたので、資料をお配りいたします。

**【資料配付】**

(白川敏明委員長) お手元にお配りいたしました資料は、これまでの調査における視察先の各自治体の取組や当局説明などを踏まえ、協議してきた内容を基に、委員長報告ではこのような提言ができるのではないかと、その提言に至るこれまでの調査内容を提言項目ごとにまとめたものになります。あわせまして、最後には委員長報告のまとめとしてどのような内容を盛り込むかの案を記載しております。

調査の中断もありましたことから、前回までの資料などを御覧いただきながら、今回の資料の内容をご確認いただきたく、時間を設けたいと思います。15分ぐらい皆さん、お読みになっていただいて。

**【資料黙読】**

(白川敏明委員長) それでは、委員の皆様から今回の委員長報告の方向性の案についてご意見をいただきたいと思いますが、ここからは自由討議形式で行いたいと思います。

**【自由討議】**

(白川敏明委員長) 皆様からいろいろご意見をいただきまして、いろいろ今あったのですけれども、経費の削減は当然のことながら効果を期待できる分野とか、なじむ仕事とか、また福島らしい独自のICT化などを提言しながら委員長報告を作成していきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。本日いただいたご意見を踏まえまして、正副委員長手元で委員長報告の素案をまとめ、次回の委員会で協議したいと思います。

それでは次に、その他を議題といたします。

正副委員長からは以上となりますが、そのほか委員の皆様から何かございますでしょうか。

**【「なし」と呼ぶ者あり】**

(白川敏明委員長) それでは、以上で総務常任委員会を終了いたします。

午後2時12分 散 会

総務常任委員長 白 川 敏 明